

ESET Smart Security V4.2

ESET NOD32 Antivirus V4.2

スタートアップガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このスタートアップガイドでは、ご利用いただく際の手順、および、本プログラムの基本的な使い方を説明しています。

詳細な設定につきましては、設定ガイドをご用意しております。
設定ガイドは、CD-ROM 内もしくは弊社ホームページからご入手ください。

ホームページ : <http://canon-its.jp/supp/eset/wesst1001.html>

■本書について

- 本書は2種類のプログラムである「ESET Smart Security V4.2」と「ESET NOD32アンチウイルス V4.2」共通のガイドとしてまとめています。節番号下に設けているアイコンは、該当するプログラムを示しています。「ESET Smart Security V4.2」は **ESS** アイコン、「ESET NOD32アンチウイルス V4.2」は **EAV** アイコンです。掲載画面は「ESET Smart Security V4.2」を利用しています。「ESET NOD32アンチウイルス V4.2」をご利用のお客は、実際の画面と異なる場合があります。ご容赦ください。

■表記について

- 本プログラムをインストール後、設定の変更を全く加えていない状態を「既定値」と表記しています。
- アイコンやボタンなどにマウスポインタ (☞) を合わせ、マウスの左ボタンを1度押すことを「クリック」、素早く2回押すことを「ダブルクリック」、マウスの右ボタンを1度押すことを「右クリック」と表記しています。
- ダイアログなどのチェックボックス、およびラジオボタンをクリックし、 の状態にすることを「チェックを入れる」「チェックをオンにする」と表記しています。

■お断り

- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっている場合があります。また本書の内容は、改定などにより予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Outlook、Windows Live、Internet Explorer、Excelは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ESET、ESET Smart Security、NOD32、ThreatSenseはESET, LLCならびにESET s.r.o.の商標または登録商標です。本プログラムの著作権は、ESET s.r.o.に帰属します。本スタートアップガイドの著作権は、キャノン ITソリューションズ株式会社に帰属します。その他の製品名および社名などは、各社の商標または登録商標です。

ESET Smart Security V4.2 / ESET NOD32 アンチウイルス V4.2
スタートアップガイド●目次●

■本書の表記について／■お断り……………2

Part.1 ご購入別導入手順

1-1 導入までの流れ……………6
1-2 インストール……………8
1-3 「新規」・「5PC」のオンラインユーザー登録（必須）……………10
1-4 「追加」のオンラインユーザー登録（必須）……………14
1-5 ユーザー名・パスワードの入力……………18
1-6 「更新」の更新手続き……………20
1-7 「5PC更新」の更新手続き……………22

Part.2 本プログラムの主な機能と動作環境

2-1 本プログラムの主な機能を知ろう……………26
2-2 画面の見方と表示方法を知ろう……………32

Part.3 本プログラムとセキュリティの基礎知識

3-1 セキュリティの基礎を知ろう……………34
3-2 さまざまな用語を知ろう……………38

Part.4 本プログラムの基本的な使い方

4-1 インストール直後／定期的に行う操作を知ろう……………43

4-2	ウイルスなどが検出されたら	46
4-3	電子メールのフィルタリング操作を知ろう [Outlook Express 編]	49
4-4	電子メールのフィルタリング操作を知ろう [Windows メール編]	53
4-5	電子メールのフィルタリング操作を知ろう [Microsoft Outlook 編]	57
4-6	電子メールのフィルタリング操作を知ろう [Windows Live メール編]	62
4-7	ツールバーの表示をカスタマイズするには	66
4-8	本プログラムをアンインストールするには	69

Part.5 FAQ

5-1	FAQ	73
-----	-----	----

インストール編

Part1

ここでは、それぞれのご購入製品に応じた導入方法を紹介しています。25 ページからの基本操作編をお読みいただく前に、ぜひご一読ください。

インストール

1-1

EAV ESS

導入までの流れ

ご利用いただくまでの導入手順を説明しております。ご使用前に必ずご覧ください。

導入手順

導入手順は、パッケージ版を基に説明しております。ダウンロード版をご購入のお客様は、一部手順が異なりますのでご注意ください。

ご購入になられた製品をお選びください。

「新規」

「5PC」

「追加」

1-2 インストール

8ページに記載された「1-2 インストール」を参考に行ってください。

1-3 「新規」・「5PC」のオンラインユーザー登録(必須)

「新規」・「5PC」をご購入のお客様は10ページに記載された「1-3 「新規」・「5PC」のオンラインユーザー登録」を参考に行ってください。

1-4 「追加」のオンラインユーザー登録(必須)

「追加」をご購入のお客様は14ページに記載された「1-4 「追加」のオンラインユーザー登録」を参考に行ってください。

1-5 ユーザー名・パスワードの入力

18ページに記載された「1-5 ユーザー名・パスワードの入力」を参考に行ってください。

完了

以上で導入は完了です。

「更新」

「5PC更新」

1-6 「更新」の更新手続き

「更新」をご購入のお客様は20ページに記載された「1-6 更新手続き」を参考に行ってください。

1-7 「5PC」の更新手続き

「5PC」をご購入のお客様は22ページに記載された「1-7 更新手続き」を参考に行ってください。

1-2 インストール

8ページに記載された「1-2 インストール」を参考に行ってください。

1-5 ユーザー名・パスワードの入力

18ページに記載された「1-5 ユーザー名・パスワードの入力」を参考に行ってください。

完了 以上で導入は完了です。

1-2 インストール

重要

他社製のアンチウイルスソフトまたは、ファイアウォールソフトがインストールされている場合は、必ずアンインストールを行ってください。

1 CD-ROM をセット

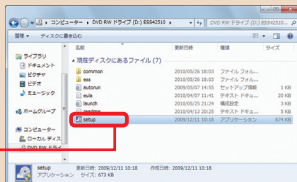


上記画面は、ご購入いただいた製品によって異なりますが操作方法は同様となります。

CD-ROMドライブにCD-ROMをセットすると、左記のプログラムが自動的に起動します。「ソフトウェア使用に関するエンドユーザーライセンス契約」をご一読のうえ、同意いただけましたら[同意した上でインストールを開始する]ボタンをクリックしてください。

POINT

[マイコンピュータ]→[CD-ROMドライブ]
→ [setup.exe] を実行することでプログラムが起動します。



ダブルクリック

POINT

ダウンロード版をご購入のお客様は入手したプログラムをご使用ください。

2 インストールの開始



インストールの進捗状況を示す画面が表示されます。しばらくお待ちください。

3 インストール完了



「インストールが完了しました」と表示されましたら、[閉じる] ボタンをクリックしパソコンを再起動してください。

POINT

更新・5PC 更新の方は 18 ページの **1-5 ユーザー名・パスワードの入力** へお進みください。

1-3

「新規」・「5PC」の
オンラインユーザー登録（必須）

1 インターネットに接続してください。

2 シリアル番号の入力



CD-ROMドライブにCD-ROMをセットすると、左記のプログラムが自動的に起動します。① [オンラインユーザー登録] ボタンをクリックし、② 『シリアル番号』を入力後に③ [このシリアル番号でユーザー登録を開始する] ボタンをクリックしてください。

POINT▶

[マイコンピュータ] → [CD-ROMドライブ] → [setup.exe] を実行することでもプログラムが起動します。

下記 URL からもユーザー登録を行うことができます。

ESET Smart Security ▶

http://canon-its.jp/product/eset/regist/ess_v4.html

ESET NOD32アンチウイルス ▶

http://canon-its.jp/product/eset/regist/eav_v4.html

3 メールアドレスの入力

Canon キヤノンITソリューションズ株式会社

【 ESET Smart Security V4 新規登録 】

「ユーザー名(パスワード)」を取得するためのユーザー登録のご案内を電子メールでお送りします。
登録用メールアドレスを入力していただき「メール送信」ボタンをクリックしてください。
入力されたメールアドレスに、ユーザー名とパスワード発行の取得案内(ユーザー登録のご案内)が送信されます。

■ シリアル番号	<input type="text"/>
■ 登録用メールアドレス	<input type="text"/>
■ 登録用メールアドレス (確認用)	<input type="text"/>

※確認のため、もう一度入力ください。

Web ブラウザーが起動しますので、メールアドレスをご入力ください。入力後に[メール送信]ボタンをクリックしてください。

重要

ご入力いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード取得案内」メールを送信いたしますので、お間違いの無いようにご注意ください。
※携帯電話、PHS など一部のメールアドレスは、ご利用いただけません。

4 電子メールの受信



しばらくすると、先ほど入力いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード取得案内」メールが届きます。電子メールに記載されている『ユーザー名・パスワード取得用 URL アドレス』へアクセスしてください。

POINT

24 時間以上経過しても、電子メールが届かない場合はお手数ですが本書に記載のサポートセンターまでご連絡ください。

5 ユーザー登録情報の入力

Canon キヤノンITソリューションズ株式会社

1. 入力が終わりましたら「ユーザー登録 確認画面」ボタンで確認画面が表示されます。内容を確認のうえ送信してください。
2. 携帯電話用メールなど、文字制限のあるメールアドレスでは、正しく情報が送られません。
3. シリアル番号、メールアドレスが同じ場合は、ブラウザを一時的に閉じて最初から登録をやり直してください。

■ ユーザー登録製品	ESET Smart Security V4.2 新規ユーザー登録
■ シリアル番号	00000-0000000000000000
■ 登録用メールアドレス	<input type="text"/>
■ 氏名【必須】	<input type="text"/> 種 (例: 野田 太郎)
■ 氏名(ローマ字)【必須】	<input type="text"/> 種 (例: YAMANO TARO)
■ 日中連絡先 電話番号【必須】	<input type="text"/> (例: 050-555-90095)
■ FAX番号	<input type="text"/> (例: 050-555-90095)
■ 登録区分【必須】	<input type="radio"/> 会社(学校の住所で登録) <input type="radio"/> 個人の住所で登録
■ 部署名/学研名	<input type="text"/> 申込人で登録の場合のみ
■ ご住所【必須】	郵便番号 <input type="text"/> 郵便局名 <input type="text"/> 丁目 <input type="text"/> 住所1 <input type="text"/> (市町村) 住所2 <input type="text"/> (ビル名等)
■ セキュリティ情報 メール配信	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない アップデートやウイルス情報、セキュリティに関する情報をお知らせいたします。

ユーザー登録ページが表示されます。必須事項を入力後に[ユーザー登録 確認画面]ボタンをクリックしてください。

重要

ご入力いただきます情報はユーザー情報となりますので、お間違いの無いようにご注意ください。

6 ご登録情報の確認

ユーザー登録 [内容確認ページ] が表示されますので、内容をご確認後に [ユーザー登録 [送信]] ボタンをクリックしてください。ご登録情報は、プリントアウトして保管することをお勧めします。

POINT

ご登録内容を修正する場合は、「前のページに戻る」をクリックしてください。

7 ご登録完了



ユーザー登録完了画面が表示されます。しばらくお待ちいただくと、ご登録いただいたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード」が記載された電子メールが届きます。

重要

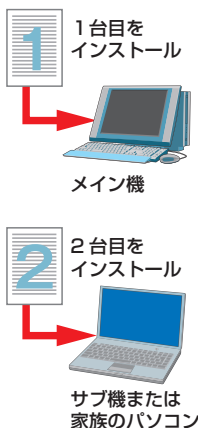
「ユーザー名・パスワード」は、ウイルス定義データベースなどのアップデートの際に必要です。別紙の「シリアル番号のご案内」用紙に書き留めるなど、大切に保管ください。

「ESET Smart Security V4.2 (新規)」 パッケージ製品をご購入のお客様へ

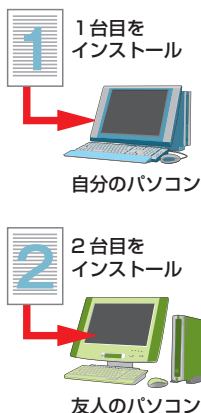
「ESET Smart Security V4.2 (新規)」パッケージ製品には、シリアル番号を2枚同梱しております。パソコン2台で各1年間もしくは、パソコン1台で2年間ご利用いただけます。

● 2つのシリアル番号の利用例

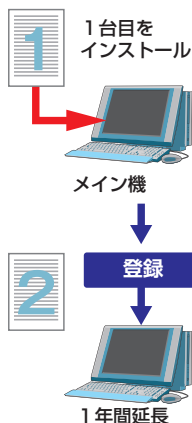
自分や家族2台で使う



友人と使う



1台で2年分使う



■ パソコン2台で使用される場合

各シリアル番号ごとに、ユーザー登録を行ってください。
登録日から1年間ご利用いただけます。

1-3 「新規」・「5PC」のオンラインユーザー登録 (必須) (10ページ) を参考に行ってください。

■ パソコン1台で2年間使用される場合

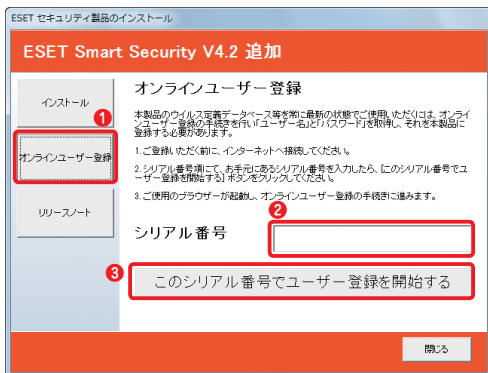
弊社ホームページをご参照の上、未使用のシリアル番号を登録してください。

URL : http://canon-its.jp/product/eset/regist/convert_v4.html

1-4 「追加」の オンラインユーザー登録（必須）

1 インターネットに接続してください。

2 シリアル番号の入力



CD-ROM ドライブに CD-ROM をセットすると、下記のプログラムが自動的に起動します。① [オンラインユーザー登録] ボタンをクリックし、②「シリアル番号」を入力後に③ [このシリアル番号でユーザー登録を開始する] ボタンをクリックしてください。

POINT

[マイコンピュータ] → [CD-ROM ドライブ] → [setup.exe] を実行することでもプログラムが起動します。

下記 URL からユーザー登録を行うことができます。

ESET Smart Security

http://canon-its.jp/product/eset/regist/ess_v4.html

ESET NOD32 アンチウイルス

http://canon-its.jp/product/eset/regist/eav_v4.html

3 必要事項の入力

Web ブラウザーが起動しますので、「メールアドレス」と「ご使用中のシリアル番号」をご入力ください。入力後に[メール送信] ボタンをクリックしてください。

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社		ホーム サポート 検索
【 ESET Smart Security V4 追加 】		
<p>「ユーザー名」「パスワード」を取得するためのユーザー登録のご案内を電子メールでお送りします。 登録用メールアドレスを入力していただき [メール送信] ボタンをクリックしてください。 入力いただきましたメールアドレスに、ユーザー名・パスワード発行の取得案内(ユーザー登録のご案内)が送信されます。</p>		
■ シリアル番号	<input type="text"/>	
■ ご利用中のシリアル番号	<input type="text"/>	※ユーザー登録済みの ESET Smart Security のシリアル番号を入力してください。
■ 登録用メールアドレス	<input type="text"/>	※ユーザー登録にてご登録いただいているメールアドレスを入力してください。 異なるメールアドレスの場合はユーザー登録いただけません。 【ユーザー登録の電子メールアドレスの変更】
■ 登録用メールアドレス (確認用)	<input type="text"/>	※確認のため、もう一度ご入力ください。
<input type="button" value="メール送信"/>		

重要

ご入力いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード取得案内」メールを送信いたしますので、お間違いの無いようご注意ください。

※携帯電話、PHS など一部のメールアドレスは、ご利用いただけません。

4 電子メールの受信



しばらくすると、先ほど入力いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード取得案内」メールが届きます。電子メールに記載されている『ユーザー名・パスワード取得用 URL アドレス』へアクセスしてください。

POINT

24 時間以上経過しても、電子メールが届かない場合はお手数ですが本紙表面に記載のサポートセンターまでご連絡ください。

5 ユーザー登録情報の入力

ユーザー登録ページが表示されます。必須事項を入力後に「ユーザー登録 確認画面」ボタンをクリックしてください。

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社 ホーム | お問い合わせ | 検索

1. 入力が終わりましたら「ユーザー登録 確認画面」ボタンで確認画面が表示されます。内容を確認のうえ送信してください。
2. 携帯電話用メールなど、文字制限があるメールアドレスでは、正しく情報が送られません。
3. シリアル番号、メールアドレスが違う場合は、ブラウザを閉じて最初から登録をやり直してください。

■ ユーザー登録 製品	ESET Smart Security V4.2 追加 ユーザー登録
■ シリアル番号	XXXXXXXXXXXX
■ 登録用メールアドレス	<input type="text"/>
■ 氏名(ローマ字)【必須】	<input type="text"/> <input type="text"/> 様 (例: CANON TARO)

ユーザー登録 確認画面

重要

ご入力いただきます情報はユーザー情報となりますので、お間違いの無いようにご注意ください。

6 ご登録情報のご確認

ユーザー登録「内容確認ページ」が表示されますので、内容をご確認後に「ユーザー登録 [送信]」ボタンをクリックしてください。ご登録情報は、プリントアウトして保管することをお勧めします。

POINT

ご登録内容を修正する場合は、「前のページに戻る」をクリックしてください。

7

ご登録完了



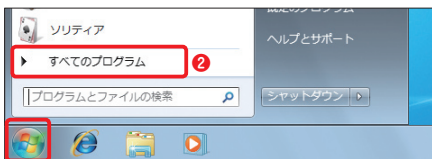
ユーザー登録完了画面が表示されます。しばらくお待ちいただくと、ご登録いただいたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード」が記載された電子メールが届きます。

重要

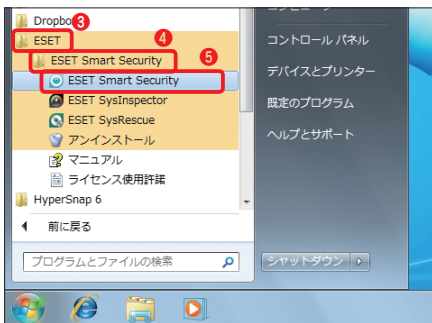
「ユーザー名・パスワード」は、ウイルス定義データベースなどのアップデートの際に必要です。別紙の「シリアル番号のご案内」用紙に書き留めるなど、大切に保管ください。

1-5 ユーザー名・パスワードの入力

1 プログラムを起動



① [スタート] → ② [すべてのプログラム] → ③ [ESET] → ④ [ESET Smart Security] → ⑤ [ESET Smart Security] をクリックしてください。



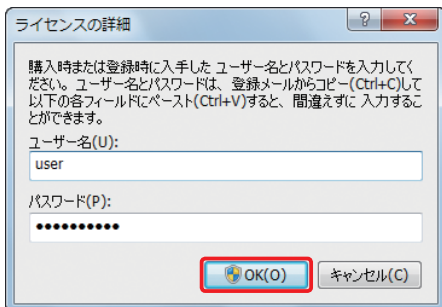
※ ESET NOD32 アンチウイルスの場合は ESET NOD32 アンチウイルスの画面が表示されます。

2 入力画面を表示



① [アップデート] ボタンをクリックし、②『ユーザー名とパスワードを入力』をクリックしてください。

3 ユーザー名・パスワードの入力



ユーザー登録メールに記載されている、「ユーザー名」と「パスワード」をご入力後[OK] ボタンをクリックしてください。

4 アップデート確認



「ウイルス定義データベースをアップデートする」をクリックして、正常にアップデートできることを確認してください。以上で導入は完了です。

1-6 「更新」の更新手続き

1 インターネットに接続してください。

2 CD-ROM をセット



CD-ROMドライブにCD-ROMをセットすると、左記のプログラムが自動的に起動します。① [オンラインユーザー登録] ボタンをクリックし、②「お申し込みコード」を入力後に③ [このお申し込みコードでユーザー登録を開始する] ボタンをクリックしてください。

POINT

[マイコンピュータ] → [CD-ROMドライブ] → [setup.exe] を実行することでもプログラムが起動します。

下記 URL からユーザー登録を行うことができます。

ESET Smart Security

http://canon-its.jp/product/eset/regist/ess_v4.html

ESET NOD32アンチウイルス

http://canon-its.jp/product/eset/regist/eav_v4.html

3 メールアドレスの入力

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社 ホーム | 製品一覧 | 検索

ESET Smart Security - 更新のご案内

日頃は ESET Smart Security をご利用いただき、誠にありがとうございます。
更新手続きをスムーズに行うことにより、プログラムおよびウイルス定義データベースのアップデート権利が延長されます。

■ ESET Smart Security 更新手順

お申し込みコード、シリアル番号、メールアドレスをご入力ください。
【ESET Smart Security 更新申し込み】ボタンをクリックしてください。

お申し込みコード	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号	<input type="text"/>	※ご案内に記載のお申し込みコード (半角英数字)
メールアドレス	<input type="text"/>	例: abc@xyz.co.jp ESET Smart Security シリアル番号
メールアドレス(確認用)	<input type="text"/>	※確認のため、もう一度ご入力ください。

③

Web ブラウザーが起動しますので、①「シリアル番号」と②「メールアドレス」をご入力ください。入力後に③「更新申し込み」ボタンをクリックしてください。

重要

ユーザー登録の際にご利用いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード」メールを送信いたしますので、メールアドレスを変更されている場合は変更手続きを行ってから更新手続きを行ってください。

- ・ユーザー登録の電子メールアドレスの変更

<http://canon-its.jp/supp/ eset/wessc2102.html>

4 ご登録完了



しばらくお待ちいただくと、ご登録いただいたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード・有効期限」が記載された電子メールが届きます。

更新手続き完了後、「ユーザー名」「パスワード」は、そのままご利用いただけます(ユーザー名が AV- ××××のお客様は、変更を行っていただく必要があります)。

重要

「ユーザー名・パスワード」は、ウイルス定義データベースなどのアップデートの際に必要です。別紙の「更新手続き用お申し込みコードのご案内」用紙に書き留めるなど、大切に保管ください。

1-7 「5PC 更新」の更新手続き

1 インターネットに接続してください。

2 CD・ROM をセット



CD・ROMドライブにCD・ROMをセットすると、左記のプログラムが自動的に起動します。① [オンラインユーザー登録] ボタンをクリックし、②『お申し込みコード』を入力後に③ [このお申し込みコードでユーザー登録を開始する] ボタンをクリックしてください。

POINT

[マイコンピュータ] → [CD・ROMドライブ] → [setup.exe] を実行することでもプログラムが起動します。

下記 URL からユーザー登録を行うことができます。

ESET Smart Security

http://canon-its.jp/product/eset/regist/ess_v4.html

ESET NOD32アンチウイルス

http://canon-its.jp/product/eset/regist/eav_v4.html

3 更新製品の選択

Canon キヤノンITソリューションズ株式会社

ESET Smart Security - 5PC更新のご案内

次年度更新の手続き完了後、有効期限の延長の取扱いが少なくとも2週間程度お待たいただく必要があります。

反映されるまでは更新手続きを行う前の有効期限が表示されており、「保護の状況」のアイコンが黄色または赤色の状態になります。有効期限の延長が反映されると、変更された有効期限が表示されますので、しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

有効期限が近いお客さまは、お早めに次年度更新の手続きをいただきますようお願いいたします。

日頃 ESET Smart Securityをご利用いただき、誠にありがとうございます。

こちらのページにて、ESET Smart Security の更新手続きを完了することができます。更新手続きを実施いただくことにより、プログラムおよびウイルス定義データベースのアップデート機能が延長されます。

ESET Smart Security 5本お持ちの場合、SPCとして一括管理することが可能です。5本の更新期間の平均計算し、ユーザーが1スワッチに実行します。

※ダウンロード版とパッケージ版が混在している場合、まとめて更新はできません。

更新方法 を選択し、【ESET Smart Security 更新申し込みフォームに移動】をクリックしてください。

ESET Smart Security SPCの更新

ESET Smart Security 5本分を ESET Smart Security SPCにまとめて更新

ESET Smart Security 更新申し込みフォームに移動

5 PC を更新される場合は、20 ページの **103** 「更新」の更新手続きの **3** 「メールアドレスの入力」へ

シリアル5本を1つのシリアル番号にまとめる場合は次の **4** へ

4 シリアル番号とメールアドレスの入力

Canon キヤノンITソリューションズ株式会社

ESET Smart Security - 5PC更新のご案内

更新手続きを実施いただくことにより、プログラムおよびウイルス定義データベースのアップデート機能が延長されます。

■ ESET Smart Security 5本分を ESET Smart Security SPCにまとめて更新

お申し込みコード、シリアル番号、メールアドレスを入力ください。
【ESET Smart Security SPCにまとめて更新申し込み】ボタンをクリックしてください。

お申し込みコード	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号 1	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号 2	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号 3	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号 4	<input type="text"/>	(半角英数字)
シリアル番号 5	<input type="text"/>	(半角英数字)
メールアドレス	<input type="text"/>	
メールアドレス (確認用)	<input type="text"/>	

ESET Smart Security SPCにまとめて更新申し込み

現在ご利用中のシリアル番号5つとメールアドレスをご入力ください。入力後に[まとめて更新申し込み]ボタンをクリックしてください。

POINT

ESET Smart Security と ESET NOD32 アンチウイルスのシリアル番号を混在してまとめることはできません。

ESET Smart Security は ESET Smart Security のみ、ESET NOD32 アンチウイルスは ESET NOD32 アンチウイルスのみの更新となります。

重要

利用中のシリアル番号で登録しているメールアドレスを統一していただく必要があります。メールアドレスの変更方法は、下記 URL をご参照ください。

- ユーザー登録の電子メールアドレスの変更
<http://canon-its.jp/supp/ eset/wessc2102.html>

5 電子メールの受信



しばらくすると、先ほど入力いただきましたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード取得案内」メールが届きます。電子メールに記載されている『ユーザー名・パスワード取得用 URL アドレス』へアクセスしてください。

6 ユーザー登録情報の入力

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社		ご入力 必須項目 印刷
1. 入力が終わりましたら [ユーザー登録 確認画面] ボタンで確認画面が表示されます。内容を確認のうえ送信してください。		
2. 携帯電話用メールなど、文字制限があるメールアドレスでは、正しく情報が送られません。		
3. シリアル番号、メールアドレスが違ふ場合は、ブラウザを閉じて最初から登録をやり直してください。		
■ ユーザー登録 製品	ESET Smart Security SPC更新	
■ シリアル番号	【登録完了後にご案内いたします】	
■ 登録用メールアドレス	<input type="text"/>	
■ 氏名【必須】	<input type="text"/>	種 (例: 野村 太郎)
■ 氏名(ローマ字)【必須】	<input type="text"/>	種 (例: CANON TARO)
■ 日中連絡先 電話番号【必須】	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>	(例: 050 - 555 - 90035)
■ FAX番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>	(例: 050 - 555 - 90035)
■ 登録区分【必須】	<input type="radio"/> 会社(学校の)の住所で登録 <input type="radio"/> 個人の住所で登録	
■ 会社名	<input type="text"/>	※法人でご登録の場合のみ【必須】
■ 部署名/学部署名	<input type="text"/>	※法人でご登録の場合のみ
■ ご住所【必須】	郵便番号 <input type="text"/> - <input type="text"/> 都道府県 <input type="text"/> 選択してください ▼ 住所1 <input type="text"/> (市区町村) 住所2 <input type="text"/> (ビル名等)	
■ セキュリティ情報メール配信	<input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない <small>アップデートやウイルス情報、セキュリティに関する情報をお届けいたします。</small>	
ユーザー登録 確認画面		

ユーザー登録ページが表示されます。必須事項を入力後に [ユーザー登録 確認画面] ボタンをクリックしてください。内容確認画面が表示されますので、確認後に [ユーザー登録 確認画面] ボタンをクリックしてください。

重要

ご入力いただきます情報はユーザー情報となりますので、お間違いの無いようにご注意ください。

7 ご登録完了



ユーザー登録完了画面が表示されます。しばらくお待ちいただくと、ご登録いただいたメールアドレス宛に「ユーザー名・パスワード」が記載された電子メールが届きます。

重要

「ユーザー名・パスワード」は、ウイルス定義データベースなどのアップデートの際に必要です。別紙の「更新手続き用お申し込みコードのご案内」用紙に書き留めるなど、大切に保管ください。

基本操作編

Part2~5

ここでは、導入後すぐにご利用いただくための解説をしています。本製品の特徴、セキュリティの基礎知識、基本的な操作方法、そして、よくある質問を4つのPartにわけてご紹介しています。

主な機能

00001

2-1

EAV ESS

本プログラムの 主な機能を知ろう

本プログラムは、さまざまな脅威や攻撃からコンピューターを保護するため、リアルタイム保護や電子メールチェック機能などを備えた、ウイルス対策ソフトです。多彩な機能を搭載しながら、煩雑な操作を自動化し、容易な操作を実現しています。

■主な機能

●ウイルスの駆除・隔離をすべて自動的に処理

ウイルス発見時の駆除や隔離といった煩雑な操作は、自動的に処理されます。そのため、ユーザーはウイルスの存在を意識することなく、コンピューターを常に安全な状態に保つことができます。

■独自技術でウイルス対策を強化



本プログラムはウイルス感染を未然に防ぎます。従来のウイルス定義データベースを使用した検出方法だけでなく、独自技術「ヒューリスティック手法」を併用した検出が可能です。

POINT

「ヒューリスティック手法」とは、ファイル内のプログラムコードを解析し、プログラムの挙動分析と動作検証を行って、ウイルス検出を行う手法です。ウイルス定義データベースを使用した検出方法だけでは、新種のウイルスは防げません。本プログラムは、ウイルス定義データベースを使用した検出方法だけでなく、ヒューリスティック手法を搭載して、ウイルス対策を強化しています。

■多彩な保護・復旧機能を用意

ウイルスの感染経路は多岐にわたるため、様々な角度から防御しなくてはなりません。また、万が一、ウイルスに侵されたとしても、すみやかに復旧できる機能も備えておく必要があります。本プログラムでは、主に次のような機能をご用意しています。

●ウイルス・スパイウェア対策 **EAV** **ESS**



ウイルス・スパイウェア対策

リアルタイム ファイルシステム保護 ①

✓ 有効

無効
[設定...](#)
[除外の編集...](#)

電子メールクライアント保護 ①

✓ 有効

無効にする
[設定...](#)

Webアクセス保護 ①

✓ 有効

無効
[設定...](#)

DVD-ROMやLAN 経由など外部からコピーしたファイルにウイルスが含まれている場合、ウイルスを検知すると警告メッセージを発生し、OSへのウイルス侵入を事前に防ぐ「リアルタイムファイルシステム保護」、ウイルスを添付ファイルとして送りつけてくる電子メールを自動的に検出する「電子メールクライアント保護機能」、Webアクセス時に使用するHTTP通信の保護を行なう「Webアクセス保護機能」などを備えています。

●フィッシング対策 **EAV** **ESS**

フィッシングサイトのリスト、シグネチャと照合・検査します。電子メールなどに埋め込まれているフィッシングサイトへのアクセスを抑止するので、フィッシングサイトは表示されません。

●迷惑メール対策機能（フィルタリング機能） **ESS**



迷惑メール対策機能

電子メールクライアント保護 ①

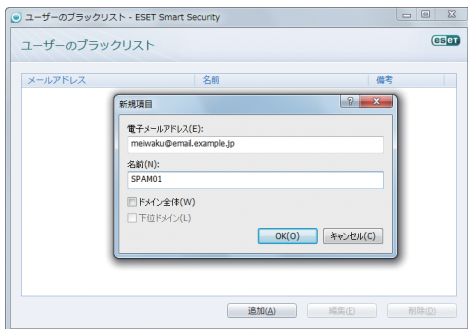
✓ 有効

無効にする
[設定...](#)
[ユーザーのホワイトリスト](#)
[ユーザーのブラックリスト](#)
[ユーザーの除外リスト](#)

一時的に迷惑メール対策機能を無効にする
[迷惑メール対策機能の詳細設定...](#)

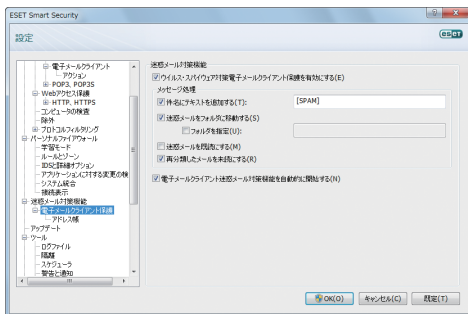
迷惑メール対策機能は、不要な広告に代表される迷惑メールを分類（フィルタリング）します。迷惑メールの判断はペイジアンフィルタなどの複数のエンジンを用いています。

□ホワイト/ブラックリスト機能で電子メールをフィルタリング



迷惑メールを送信してくる電子メールアドレス(もしくはドメイン)をブラックリストに登録できます。これにより、迷惑メールをフィルタリングできます。また、ホワイトリストに友人などのメールアドレスを登録できます。これにより友人などから送られてくるメールを信頼メールとしてフィルタリングできます。

□多彩なメールクライアントに対応



ESET 迷惑メール対策フィルタは、Microsoft Outlook、Outlook Express、Windows Mail、Windows Live メール、Mozilla Thunderbirdなどのメールクライアントに対応しています。これらのメールクライアントを使用しているユーザーは、迷惑メール対策フィルタを使用できます。迷惑メール対策フィルタは、迷惑メールと判断したメールの件名に [SPAM] などの文字を加え、指定したフォルダに移動させることもできます。

□キーワード学習でフィルタリング精度を向上

迷惑メールの検出は、ベイズの定理を応用した Bayesian Filter (ベイジアンフィルタ) を用いています。迷惑メールと判断されるキーワードを学習し続け、学習量が増えると通常の電子メールと迷惑メールの分類精度が高まり、対策機能が向上するという特徴を備えています。

● パーソナルファイアウォール

ESS

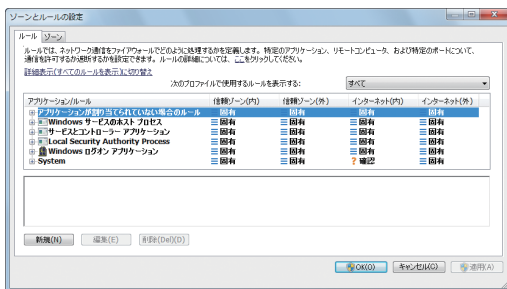


ネットワーク通信を監視し、侵入検知、攻撃検知により、不要な通信を遮断、必要な通信のみを許可することができます。

POINT

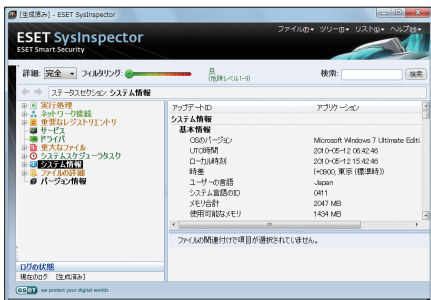
ESET Smart Security の既定値である「自動フィルタリングモード」は、ユーザーのコンピューターからインターネットへの通信はすべて許可し、インターネットからコンピューターへの通信は、内部からの通信要求に対する返信（レスポンスパケット）を除き、すべて遮断される設定となっています。特にアプリケーションの通信などで問題が起きない限り、「自動フィルタリングモード」のままお使いになることをお勧めします。

□ 詳細なファイアウォール設定が可能



ファイアウォールを通過させるアプリケーションの設定は自動的に行われます。なお詳細な設定をするには、対話モードを用いて設定を行います。

● SysInspector 機能 EAV ESS



コンピューターにインストールされているソフトウェアや重要なレジストリなどの情報を確認できるソフトウェアを搭載しています。ログやスナップショットを作成しておくことで、アプリケーションの追加、削除を行った場合に変更されたファイルなどの情報を確認できます。

● SysRescue 機能 EAV ESS



CD/DVDやUSBフラッシュメモリーから本プログラムを起動し、ウイルスチェックや駆除を行える機能を装備しています。これによって、Windowsが起動した状態では駆除できないウイルスの駆除を簡単に行えます。

■ 動作環境**[対応 OS] EAV ESS**

- ・ Windows 2000 Professional SP4 (※)
- ・ Windows XP Home Edition
- ・ Windows XP Professional
- ・ Windows XP Professional x64 Edition
- ・ Windows Vista Ultimate 32/64bit版
- ・ Windows Vista Enterprise 32/64bit版
- ・ Windows Vista Business 32/64bit版
- ・ Windows Vista Home Premium 32/64bit版
- ・ Windows Vista Home Basic 32/64bit版
- ・ Windows 7 Starter
- ・ Windows 7 Home Premium 32/64bit版
- ・ Windows 7 Professional 32/64bit版
- ・ Windows 7 Ultimate 32/64bit版

※ESET Smart Security は未対応です。また Windows 2000 は、Service Pack 4 および Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 が導入されている必要があります。

[CPU] EAV ESS

Windows 2000/Windows XP の場合：400MHz 以上の 32 bit プロセッサ
Windows XP x64 Edition の場合：64 bit プロセッサ（インテル Itanium 除く）
Windows Vista/Windows 7 の場合：1GHz 以上の 32 bit プロセッサ または 64 bit プロセッサ（インテル Itanium 除く）

[メモリー] EAV ESS

Windows 2000/Windows XP の場合：128MB 以上
Windows XP x64 Edition の場合：256MB 以上
Windows Vista の場合：512MB 以上
Windows 7 の場合：512MB 以上

[ハードディスク] EAV ESS

200MB 以上の空き容量（推奨：1GB 以上）

[ディスプレイ] EAV ESS

Super VGA (800 × 600) 以上（推奨：1024 × 768 以上）

[迷惑メール対策機能対応メールソフトウェア] ESS

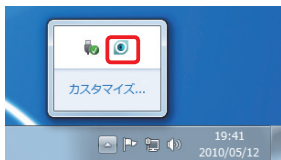
Microsoft Office Outlook 2000/2002/2003/2007
Microsoft Outlook Express
Windows メール、Windows Live メール
Mozilla Thunderbird

2-2

EAV ESS

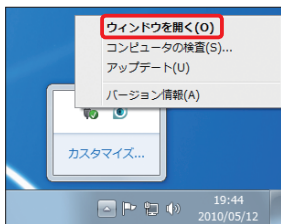
画面の見方と表示方法を知ろう

ここでは ESET Smart Security をベースに、本プログラムの基本的な画面や通知領域に表示されたアイコンの見方と表示方法、およびウイルスなどが検出された場合の警告画面をご紹介します。



1

通知領域には本プログラムが起動していることを示すアイコンが表示されます。通知領域にアイコンが表示されていない場合は、「隠れているインジケーターを表示します」ボタンをクリックします。

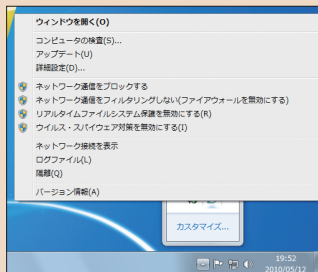


2

アイコンの右クリックメニューから、「ウィンドウを開く」を選択すると、基本画面の呼び出しが可能です。

POINT

アイコンを右クリックして表示されるメニューは、本プログラムの基本画面の表示モードを「標準モード」で使用している場合と「詳細モード」で使用している場合で異なります。詳細モードで使用している場合は、基本画面を開く以外にも、ネットワーク通信のブロックやファイアウォール、リアルタイムファイルシステム保護、ウイルス・スパイウェア対策などの有効/無効を切り替えることもできます。





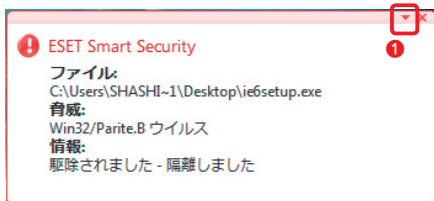
3

基本画面の①には各機能呼び出すタスクのボタンが並び、②には機能および状態が表示されます。③には表示モードを示すステータスバーが表示されます。



4

表示モードの切り替えは、①ステータスバーの[変更...]をクリックします。表示モードを「詳細モード」に切り替えると、②各タスクのボタンに詳細な項目が並ぶようになり、③「ツール」ボタンと④メニューバーが追加されます。



5

ウイルスやワームを検出すると警告画面が表示されます。①[▼]ボタンをクリックすると、警告画面の表示設定を変更できます。左図の例では、「Win32/Parite.B」という名前のウイルスを検出し、隔離処理を行った後にウイルスを削除したことを表しています。

3-1

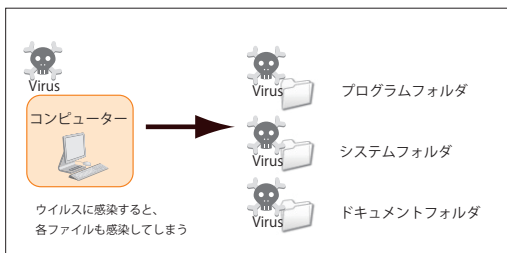
セキュリティの基礎を知ろう

EAV ESS

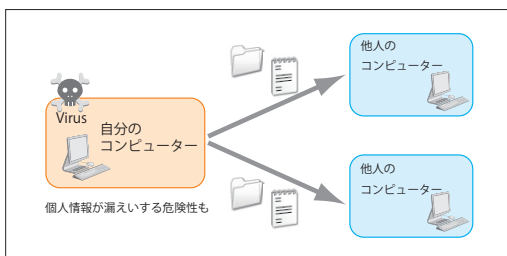
ウイルスとは、どのような存在なのでしょう。ここでは本プログラムから一歩離れて、ウイルスやファイアウォール、迷惑メールなどについて説明します。

■ウイルスとは何？

EAV ESS



ウイルス（コンピューターウイルス）とはコンピューターに感染し、自己増殖や破壊活動を行うプログラムの総称です。主に Web ページの閲覧やファイルのダウンロード時に感染します。



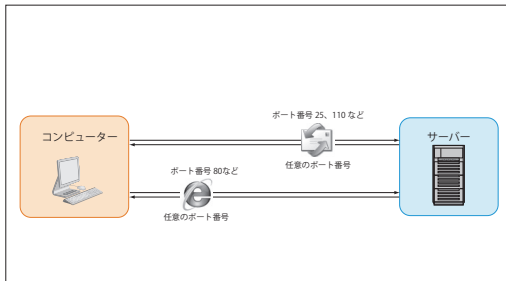
ウイルスに感染すると、ファイルの破損や特定アプリケーションの実行速度低下、データの改ざんなどが行われ被害は甚大です。特に情報漏えいは社会的信用度が著しく落ちてしまいます。

POINT

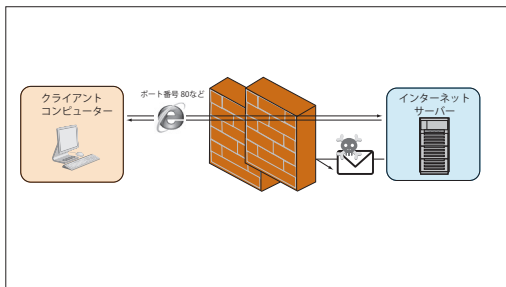
ウイルスの種類を大別すると、セキュリティホール（システムのセキュリティ上の弱点）などを悪用して侵入し、破壊活動を行うもの、有用なアプリケーションに見せかけて侵入する「トロイの木馬」、指定時刻など一定条件を満たすと自動的に破壊動作を開始する「ロジックボム」、ユーザーの操作履歴などを収集する「スパイウェア」などがあります。

■ファイアウォールとは何のためにあるの？

ESS



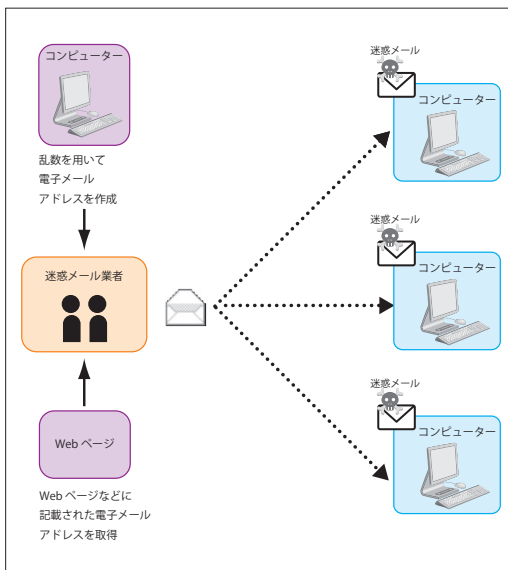
コンピューターがデータ通信を行う際は通信の宛先を示す IP アドレスとポート番号が利用されています。



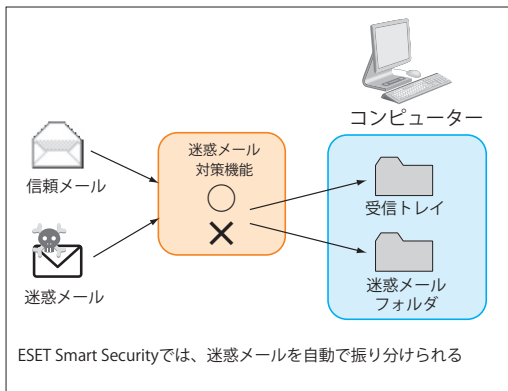
ファイアウォールは、不正アクセスから私たちが使うパソコンを防御するためにあります。IPアドレスやポート番号、通信の方向を特定することによって、必要な通信のみを許可し、セキュリティを高めます。

■迷惑メールを分類（フィルタリング）するには？

ESS



迷惑メールとは無差別に送られてくる宣伝目的などの電子メールの総称です。



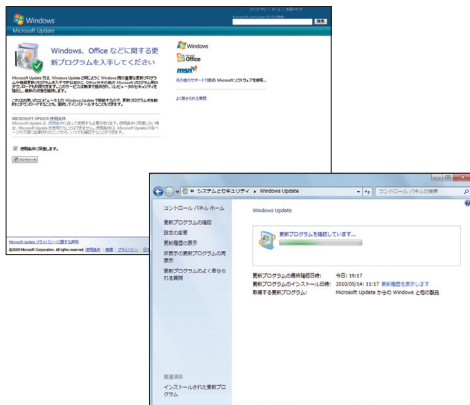
ESET Smart Securityは、対応メールソフト*にフィルタリング機能を付加します。フィルタリング機能は、電子メールの送信元や本文を元に迷惑メールが否かを判断し、メールを自動で振り分けます。これにより、迷惑メールに目を通す機会を軽減できます。

*本ガイド 31ページに記載

■より強固なセキュリティ対策を行うには？



Microsoftが提供する修正プログラムを適用すると、より強固なセキュリティ環境が築けます。



セキュリティ対策として、各修正プログラムを配布するWindows Update (Microsoft Update) から修正プログラムを適用し、常に最新の状態に維持することが重要なポイントとなります。

POINT

Microsoft ではセキュリティホール (システムのセキュリティ上の弱点) を防ぐため、毎月セキュリティ修正プログラムを提供しています。詳しくは下記 Microsoft の Web サイトをご参照ください。

<http://www.microsoft.com/japan/security/>

用語

キーワード

00004

3-2

EAV ESS

さまざまな用語を知ろう

本書で使われている説明では、数多くのコンピューター用語が用いられています。ここでは、コンピューター用語の説明を行います。

HTTP	Web ページ閲覧時に利用されるプロトコルです。主に 80 番ポートや 8080 番ポートが利用されます。
IP アドレス	データを送受信する機器を判別するために用いられ、192.0.2.10 などの数字で表記されます。通信を行なううえで、機器の住所のような役割を持ちます。
OS	コンピューターの基本的な部分を操作するための基本プログラム。ワードプロセッサや表計算ソフトなど一般的なソフトウェアは OS 上で動作します。Windows は OS のひとつです。
POP3	電子メールの受信時に利用されるプロトコルです。主に 110 番ポートが利用されます。
ThreatSense	ESET 社がヒューリスティック手法を拡張した技術を指します。また同技術で検出したウイルスなどを世界規模で監視する早期警告システム「ThreatSense.Net」は本プログラムと連動しています。
Web	インターネットなどで一般的に用いられるドキュメントシステムです。Web サービスを提供するサーバーを Web サーバーと呼び、Internet Explorer のように Web サーバーへのアクセスや Web ページの表示を行うソフトウェアを Web ブラウザーと呼びます。
アカウント	コンピューターやネットワーク上の資源を利用するための権利を持つユーザー名などを指します。本プログラムではアップデートサーバーへの接続時に必要となります。
アップデート	ソフトウェアの小規模な更新を意味し、本プログラムではプログラム本体やウイルス定義データベースの更新を意味します。

アドウェア	広告表示などを目的としたソフトウェア。Internet Explorer のホームページ（起動時に閲覧するページ）を書き換えるタイプも存在します。
ウイルス	様々な経路から感染しコンピューター内のデータを破壊するプログラム。行動パターンによって様々な別称があり、Word や Excel といったソフトウェア上のマクロを用いて自己増殖や破壊活動を行う「マクロウイルス」、電子メールなどを通じて自己増殖や破壊活動を繰り返す「ワーム」などが存在し、これらの総称として使われることもあります。
ウイルス定義データベース	ウイルスの特徴を収録したファイルで、本プログラムなどのウイルス対策ソフトがウイルスの検出に使用します。他のウイルス対策ソフトでは「パターンファイル」と称することもあります。
拡張子	ファイルの種類を定義する方法のひとつ。ファイル名末尾の「.（ドット）」以下を指します。
隔離	本プログラムにおける隔離とは、ウイルスとして検出されたファイルを隔離フォルダに保存する処理を指します。また、隔離されたウイルス感染ファイルは無力化処理が施されているため安全です。
駆除	本プログラムではウイルスに感染したファイルからウイルスだけを取り除き、正常なファイルに戻すことを指します。ただしウイルスの種類によっては駆除が難しく、場合によってはファイルを削除しなければなりません。
サーバー	Web や動画配信などの色々なサービスを提供するコンピューターを指します。
スパイウェア	ユーザーの Web アクセス履歴や操作パターンなどを収集し、送信するプログラムです。
セキュリティホール	ソフトウェアの設計ミスなどによって生じた、セキュリティ上の弱点を指します。インターネットに接続しているコンピューターの場合、OS のセキュリティホールに攻撃を受ける危険性があります。現在では、OS だけでなくアプリケーションのセキュリティホールを突く攻撃も増加しています。
ゾーン	本プログラムのパーソナルファイアウォール機能では、ネットワークのグループを指します。

トラフィック	ネットワーク上を移動するデータ、もしくはネットワーク上を移動するデータの情報量を指します。
トロイの木馬	従来のトロイの木馬は、自己を有益なプログラムに見せかけ、ユーザーを騙して実行させようとするものが一般的でしたが、現在では、この限りではありません。他の種類に分類されないほとんどのマルウェアがトロイの木馬として分類されます。トロイの木馬には、多くの種類があり、代表的なものにダウンローダー、バックドア、キーロガーなどのプログラムがあります。ダウンローダーは、インターネットから他のマルウェアをダウンロードする機能を搭載したプログラムで、バックドアは、リモートの攻撃者と通信して、システムにアクセスし制御できるようにするプログラム、キーロガーは、ユーザーが入力した各キーストロークを記録し、リモートの攻撃者にその情報を送信するプログラムです。
ヒューリスティック手法	ウイルス定義データベースを用いてウイルスを検知する方法では既知のウイルスしか検出できません。そのため本プログラムでは、仮想環境上でウイルスの挙動分析と動作検証を実行して、ウイルス検出を行います。
ファイアウォール	外部から企業や家庭内 LAN などへの侵入、もしくは意図しない外部へのアクセスを防ぐ機能。「パーソナルファイアウォール」は、内外に流れるデータの送受信を制御するのが一般的です。Windows XP (SP2 以降) /Windows Vista/Windows 7 でも最小限の機能を備えたファイアウォール機能が搭載されています。
フィッシングメール	金融機関などからの案内メールを装い、暗証番号やクレジットカード番号などを詐取する詐欺メールを指します。
フィルタリング	ファイアウォールが持つ機能で、送受信しているパケットを検査し、通過させるか否かを分類する機能を指します。
ブラックリスト	本プログラムの迷惑メール対策機能において迷惑メールとして処理する電子メールアドレスの一覧を指します。
プログラムコンポーネント	本プログラムではプログラム本体のアップデート時に更新されるプログラムパーツを意味します。

プロトコル	コンピューターが他のコンピューターと通信を行うには、データの送受信の手続き方法など様々な約束ごとが必要になります。この約束ごとをプロトコルと呼びます。
ホワイトリスト	本プログラムの迷惑メール対策機能において信頼できる電子メールアドレスの一覧を指します。
ポート	データを送受信するアプリケーションを判別するために、主に IP アドレスとセットで用いられます。各ポートは番号で表記されます。たとえばメールソフトウェアは電子メールの受信のために 110 番ポートを、Web ブラウザーは閲覧のために 80 番ポートをそれぞれ利用します。
マルウェア	ウイルスやスパイウェアなど、悪意を持ったソフトウェアの総称。
迷惑メール (スパムメール)	ユーザーの許可を得ずに広告表示などを目的として無差別に送信されてくる電子メールを指します。
リアルタイムファイルシステム保護	ファイルの読み込み/書き込み時に、ファイルを検査する機能です。
リモート攻撃	攻撃者が、ネットワーク（インターネットなど）を利用して別のコンピューターを攻撃することを指します。リモート攻撃には、Web サーバーなど利用できなくする DoS(Denial of Service) 攻撃、DNS サーバーをだまし、悪意のあるサーバーに接続させ、ワームやウイルスをダウンロードさせる DNS 侵害、データの送受信で利用されるポート番号のうち空いているポートチェックするポートスキャン、Windows ネットワークで使用されている SMB(Server Message Block) ファイル共有プロトコルを利用して攻撃を行う SMB リレー、さまざまなエラーメッセージを送信するために使用される ICMP(インターネット制御メッセージプロトコル) を利用して攻撃を行う ICMP 攻撃などがあります。
ルートキット	動作中のプログラムをユーザーから見えなくする機能を持ったプログラム。悪意のある侵入者が遠隔地のコンピューターを不正に操作するために用いるパッケージを「ルートキット」と称することもあります。

ルール	ファイアウォールが通信を許可するか否かを判断するための設定情報を指します。本プログラムのパーソナルファイアウォール機能では、自動的にルールを生成していますが、「対話モード」に切り替えることでユーザーが自分でルールを作成できます。
ログ	様々な過程を詳細に記録したファイルを指しますが、本プログラムではウイルス検査を行った日時や検査したファイル名などを記録しています。
ワーム	感染先のコンピューターを攻撃しネットワークを介して蔓延する悪意のあるプログラムを指します。ワームは、広い意味ではウイルスの一種とされますが、その性格は異なります。ワームは自己を複製し、自ら移動でき、宿主ファイル(またはブートセクタ)に依存しません。このため、ワームは、ウイルスよりはるかに実行可能性が高く、インターネットを利用することで、リリース後、数時間以内に世界中に蔓延でき、場合によっては、数分で広まります。自己を単独で急速に複製できるワームは、他の種類のマルウェア(ウイルスなど)よりはるかに危険です。

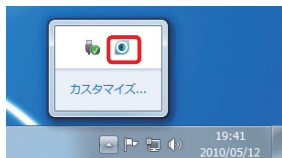
4-1

EAV ESS

インストール直後／定期的に行う操作を知ろう

本プログラムのインストールを終えたら、コンピューター全体のウイルス検査を行います。また、この操作はコンピューターの安全性を高めるため、定期的に行ってください。

■コンピューターの検査を行うには



1

通知領域にある本プログラムのアイコンをダブルクリックして、基本画面を呼び出します。通知領域にアイコンが表示されていない場合は、「隠れているインジケータを表示します」ボタンをクリックし、本プログラムのアイコンが表示されたらダブルクリックします。



2

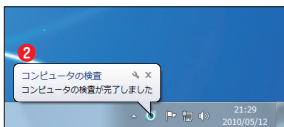
[コンピュータの検査]ボタンをクリックします。



3 コンピューターの検査にはふたつの検査オプションがあります。通常、コンピューターの検査を行うには [Smart 検査] をクリックします。



4 ウイルス検査が始まったら 1 進行状況を示すバーとパーセンテージが表示されます。検査が完了すると終了を示すメッセージと 2 バルーンが現われるので、3 [OK] ボタンをクリックします。

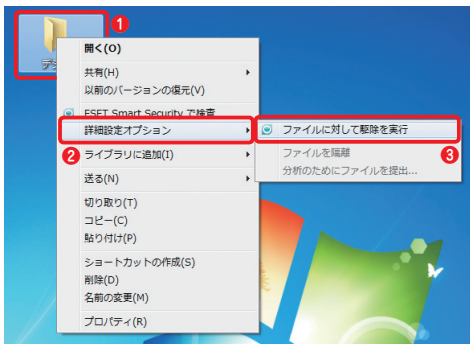


コラム

■ 任意のフォルダをウイルス検査するには



1 任意のフォルダをウイルス検査する手順を紹介します。①対象となるフォルダを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security で 検査] をクリックします。



2 ウイルスの駆除をあわせて実行する場合は、①対象となるフォルダを右クリックし、表示されるメニューから②[詳細設定オプション] → ③[ファイルに対して駆除を実行] をクリックします。

ウイルス駆除

ウイルス発見

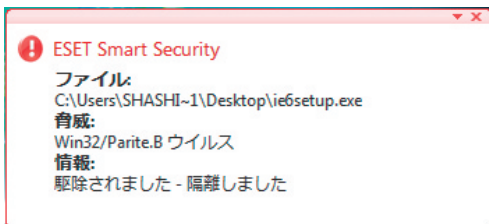
00006

4-2

EAV ESS

ウイルスなどが検出されたら

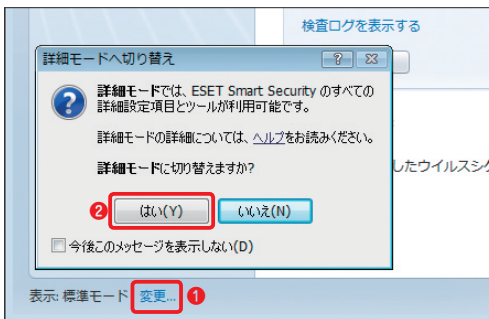
本プログラムがウイルスを検出した場合は、感染ファイルが隔離されます。



1

本プログラムがウイルスの感染を検出すると警告画面が一定時間表示されます。通常は本プログラムがウイルスを自動的に隔離・削除または駆除するため、特に操作を行う必要はありません。

■ 誤って検出されたファイルを復元するには



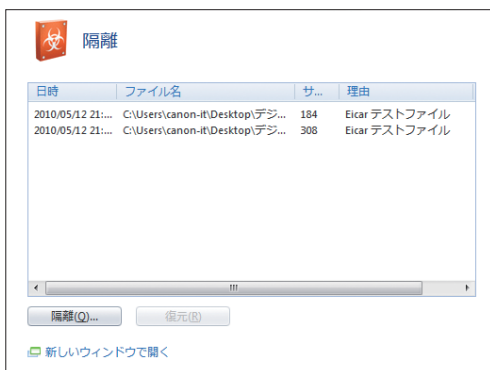
1

基本画面のステータスバーから① [変更] をクリックし、表示される [詳細モードへ切り替え] 画面の② [はい] をクリックします。



2

① [ツール] ボタンをクリックし、② [隔離]、もしくは③ [隔離] をクリックします。



3

隔離されたファイルの一覧が表示されます。

POINT

本プログラムが隔離したファイルからウイルスに感染することはありません。



4

①対象項目を右クリックし、表示されるメニューから②[復元]をクリックします。隔離前にファイルが存在したフォルダに、誤って検出されたファイルが復元されます。

POINT▶

手順の④画面で、①対象項目を右クリックし、表示されるメニューから[復元先を指定]をクリックすると、隔離したファイルを任意の場所へ復元することができます。

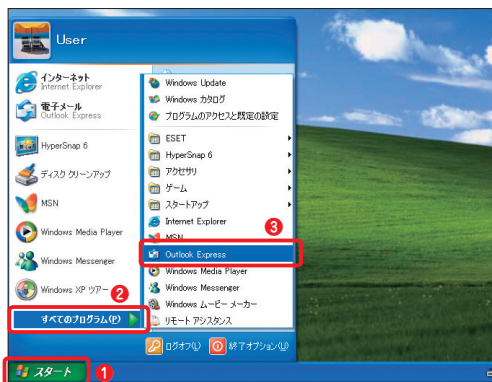
4-3

ESS

電子メールのフィルタリング操作
を知ろう [Outlook Express 編]

Outlook Express で迷惑メールを学習させたり、迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除する方法を紹介します。また、特定のメールアドレスを、ホワイトリストに登録する方法もあわせて紹介します。

■ 迷惑メールを学習させるには

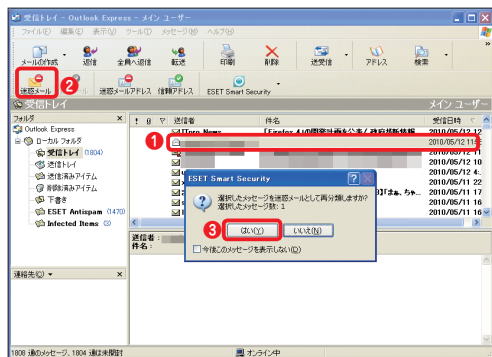


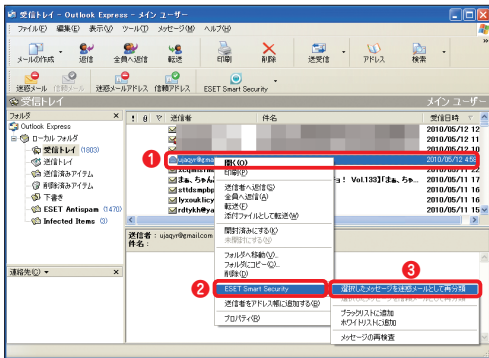
1

迷惑メールの学習手順を紹介します。①[スタート] → ② [すべてのプログラム] → ③ [Outlook Express] をクリックします。

2

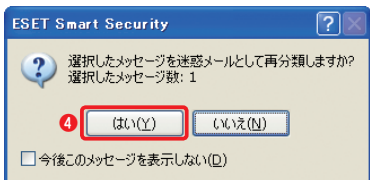
Outlook Express が起動したら、①迷惑メールを選択し、② [迷惑メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、③ [はい] ボタンをクリックします。



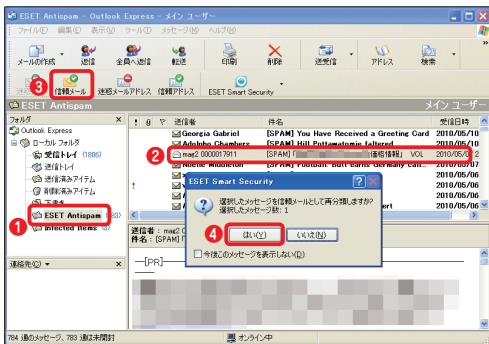


3

迷惑メールの指定は、次の手順でも行うことができます。①迷惑メールを右クリックし、表示されるメニューから、②[ESET Smart Security] → ③[選択したメッセージを迷惑メールとして再分類] をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい] ボタンをクリックします。

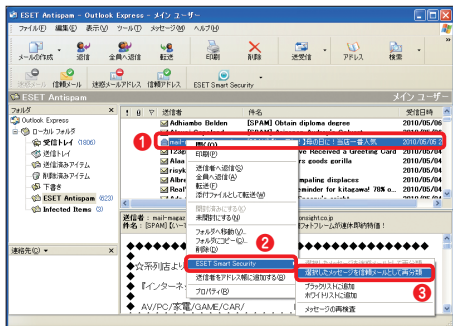


迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには



1

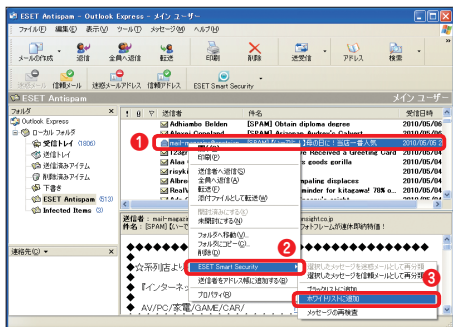
迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除します。①[ESET Antispam] をクリックしてフォルダを開き、②解除したいメールを選択して③[信頼メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい] ボタンをクリックします。



2

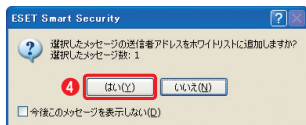
迷惑メールの解除は、次の手順でも行うことができます。①解除したいメールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security]→③[選択したメッセージを信頼メールとして再分類]をクリックします。

■特定のメールアドレスをホワイトリストに登録するには



1

特定のメールアドレスから届いた電子メールが迷惑メールとして誤って分類される場合は、ホワイトリストに登録してください。①該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security]→③[ホワイトリストに追加]をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい]ボタンをクリックします。

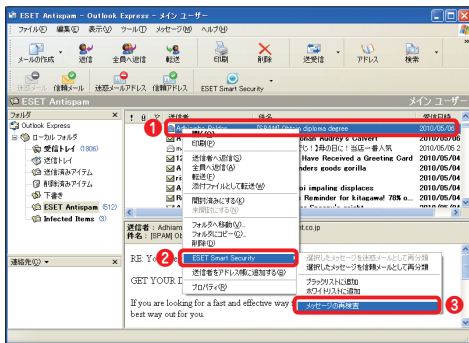


POINT

既定値では該当する電子メールを選択してから、[信頼メール] ボタン*をクリックすることでメールアドレスをホワイトリストに登録できます。

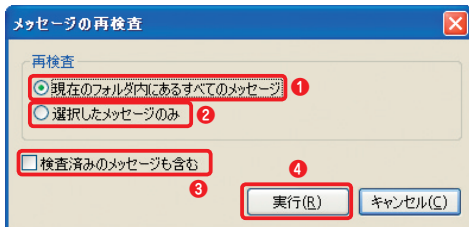
*:本ガイド 50 ページの「迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには」項目の手順①の③を参照してください。

■メッセージの再検査を行うには



1

分類されたメッセージは、次の手順で再検査を行うことができます。①該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security]→③[メッセージの再検査]をクリックします。



2

確認ダイアログが表示されます。フォルダ内にあるすべてのメッセージを再検査したい場合は、①再検査欄の[現在のフォルダ内にあるすべてのメッセージ]にチェックを入れます。選択したメッセージのみを再検査したい場合は、②[選択したメッセージのみ]にチェックを入れます。続いて検査済みのメッセージも含んで再検査を行いたい場合は、③[検査済みのメッセージも含む]にチェックを入れ、④[実行]ボタンをクリックします。

POINT▶

メッセージの再検査を実行するダイアログは、次の手順でも表示させることができます。該当する電子メール、あるいは該当するフォルダをクリックした後、ツールバーの[ESET Smart Security]アイコンをクリックし、表示されるメニューから[メッセージの再検査]をクリックします。



4-4

ESS

電子メールのフィルタリング操作
を知ろう [Windows メール編]

Windows メールで迷惑メールを学習させたり、迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除する方法を紹介します。また、特定のメールアドレスを、ホワイトリストに登録する方法もあわせて紹介します。

■ 迷惑メールを学習させるには



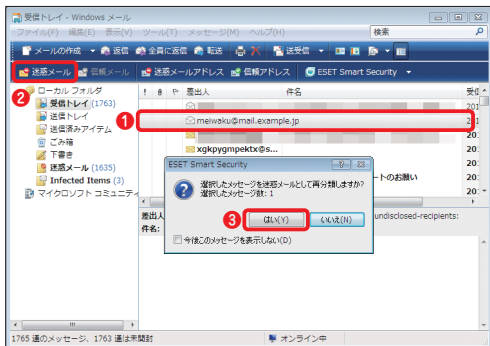
1

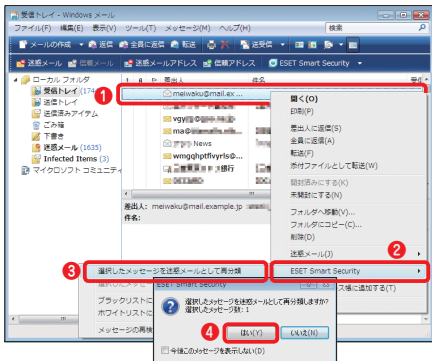
迷惑メールの学習手順を紹介します。① [スタート] → ② [すべてのプログラム] をクリックし、③ [Windows メール] をクリックします。



2

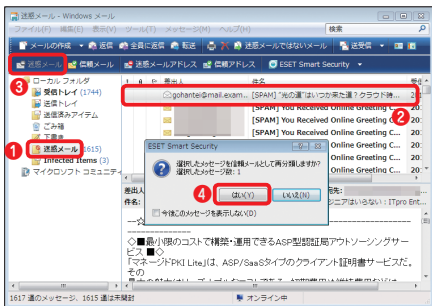
Windows メールが起動したら、① 迷惑メールを選択し、② [迷惑メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、③ [はい] ボタンをクリックします。



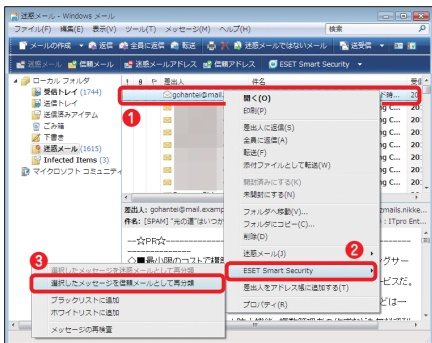


3 迷惑メールの指定は、次の手順でも行うことができます。①迷惑メールを右クリックし、表示されるメニューから、②[ESET Smart Security] → ③「選択したメッセージを迷惑メールとして再分類」をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④「はい」ボタンをクリックします。

■迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには

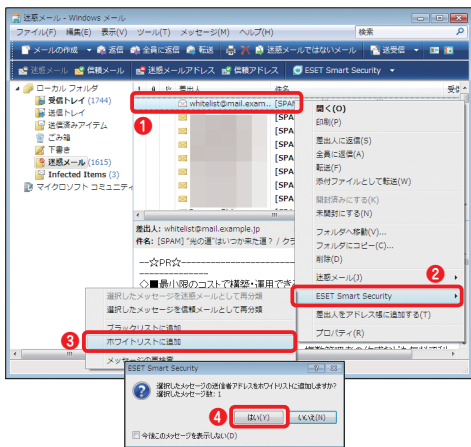


1 迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除します。①[迷惑メール] をクリックしてフォルダを開き、②解除したいメールを選択して③[信頼メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④「はい」ボタンをクリックします。



2 迷惑メールの解除は、次の手順でも行うことができます。①解除したいメールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security] → ③「選択したメッセージを信頼メールとして再分類」をクリックします。

■特定のメールアドレスをホワイトリストに登録するには



1

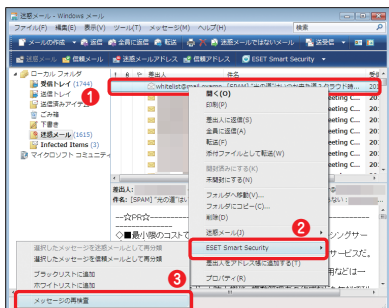
特定のメールアドレスから届いた電子メールが迷惑メールとして誤って分類される場合は、ホワイトリストに登録してください。①該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security] →③[ホワイトリストに追加]をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい] ボタンをクリックします。

POINT

既定値では該当する電子メールを選択してから、[信頼メール] ボタン*をクリックすることでもメールアドレスをホワイトリストに登録できます。

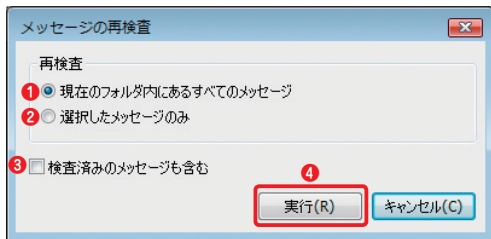
*:本ガイド 54 ページの「迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには」項目の手順①の③を参照してください。

■メッセージの再検査を行うには



1

分類されたメッセージは、次の手順で再検査を行うことができます。①該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security] →③[メッセージの再検査]をクリックします。



2

確認ダイアログが表示されます。フォルダ内にあるすべてのメッセージを再検査したい場合は、**1** 再検査欄の [現在のフォルダ内にあるすべてのメッセージ] にチェックを入れます。選択したメッセージのみを再検査したい場合は、**2** [選択したメッセージのみ] にチェックを入れます。続いて検査済みのメッセージも含んで再検査を行いたい場合は、**3** [検査済みのメッセージも含む] にチェックを入れ、**4** [実行] ボタンをクリックします。

POINT

メッセージの再検査を実行するダイアログは、次の手順でも表示させることができます。該当する電子メール、あるいは該当するフォルダをクリックした後、ツールバーの [ESET Smart Security] アイコンをクリックし、表示されるメニューから [メッセージの再検査] をクリックします。



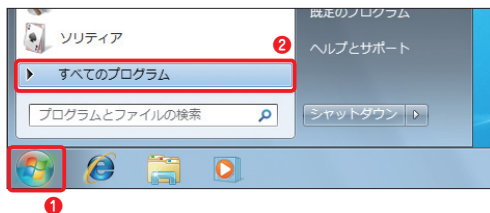
4-5

ESS

電子メールのフィルタリング操作
を知ろう [Microsoft Outlook 編]

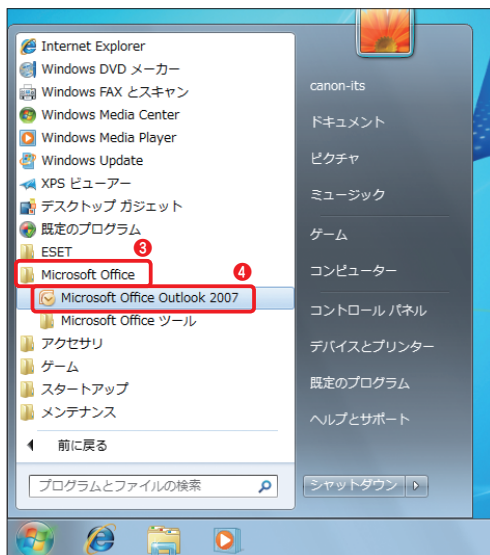
Microsoft Outlook で迷惑メールを指定したり、迷惑メールに指定された電子メールを解除する方法を紹介します。また、特定のメールアドレスをホワイトリストに登録する方法もあわせて紹介します。

■ 迷惑メールを学習させるには

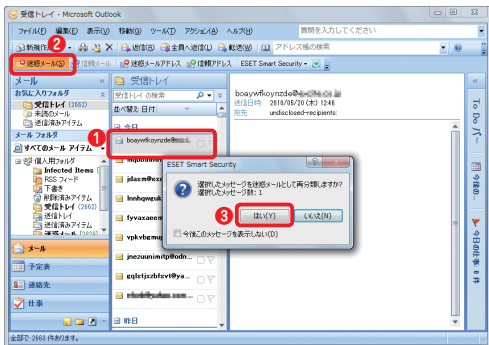


1

迷惑メールの学習手順を紹介します。① [スタート] → ② [すべてのプログラム] → ③ [Microsoft Office] → ④ [Microsoft Office Outlook 2007] をクリックします。

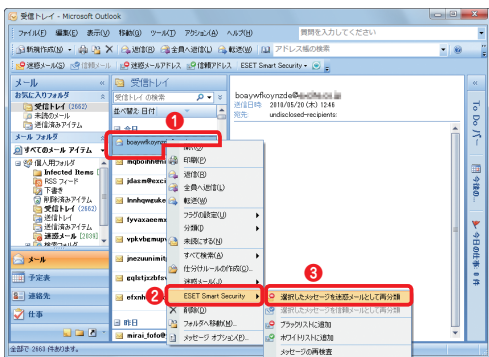


(ここでは Microsoft Office Outlook 2007 を例として説明します。)



2

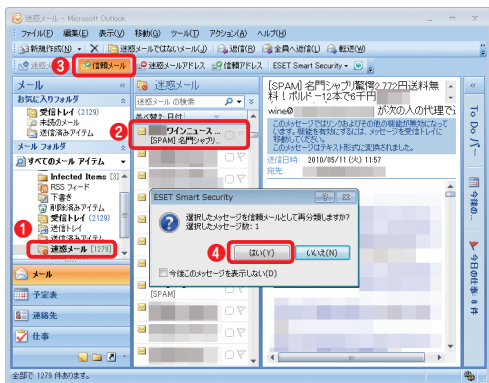
Microsoft Outlookが起動したら、**1** 迷惑メールを選択し、**2** [迷惑メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、**3** [はい] ボタンをクリックします。



3

迷惑メールの指定は、次の手順でも行うことができます。**1** 迷惑メールを右クリックし、表示されるメニューから**2** [ESET Smart Security] → **3** [選択したメッセージを迷惑メールとして再分類] をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

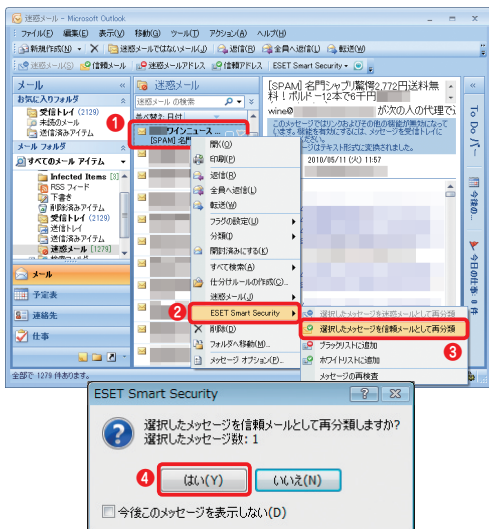
■迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには



1

迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除します。①[迷惑メール]*をクリックしてフォルダを開き、②解除したいメールを選択して③[信頼メール]ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい]ボタンをクリックします。

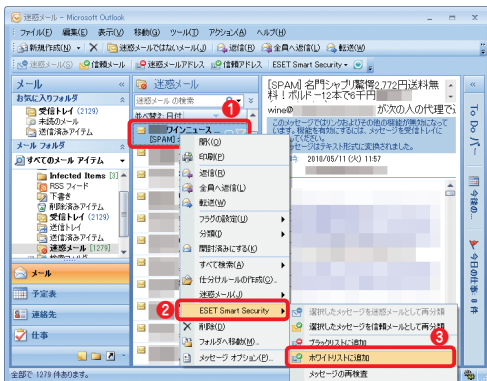
* : Microsoft Outlook 2000/2002では[Eset Antispam]と表示されます。



2

迷惑メールの解除は、次の手順でも行うことができます。①解除したいメールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security] → ③[選択したメッセージを信頼メールとして再分類]をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい]ボタンをクリックします。

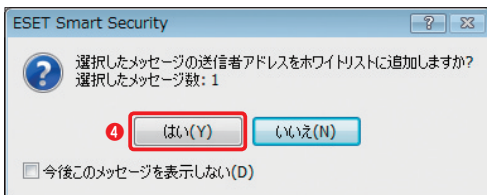
■特定のメールアドレスをホワイトリストに登録するには



①

特定のメールアドレスから届いた電子メールが迷惑メールとして分類される場合は、ホワイトリストに登録してください。

①該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから②[ESET Smart Security] → ③[ホワイトリストに追加]をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④[はい] ボタンをクリックします。

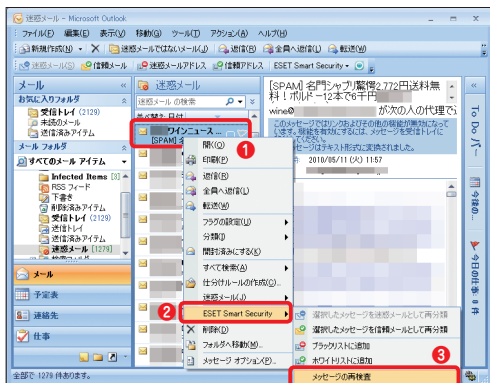


POINT▶

既定値では該当する電子メールを選択してから、[信頼メール] ボタン*をクリックすることでメールアドレスをホワイトリストに登録できます。

*: 本ガイド 59 ページの「迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには」項目の手順①の③を参照してください。

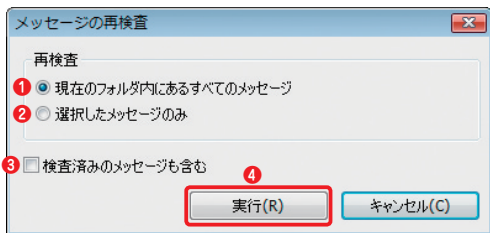
■メッセージの再検査を行うには



1

分類されたメッセージは、次の手順で再検査を行うことができます。

① 該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから② [ESET Smart Security] → [メッセージの再検査] をクリックします。

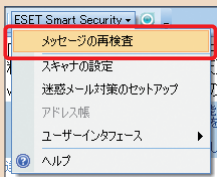


2

確認ダイアログが表示されます。フォルダ内にあるすべてのメッセージを再検査したい場合は、① 再検査欄の [現在のフォルダ内にあるすべてのメッセージ] にチェックを入れます。選択したメッセージのみを再検査したい場合は、② [選択したメッセージのみ] にチェックを入れます。続いて検査済みのメッセージも含んで再検査を行いたい場合は、③ [検査済みのメッセージも含む] にチェックを入れ、④ [実行] ボタンをクリックします。

POINT

メッセージの再検査を実行するダイアログは、次の手順でも表示させることができます。該当する電子メール、あるいは該当するフォルダをクリックした後、ツールバーの [ESET Smart Security] アイコンをクリックし、表示されるメニューから [メッセージの再検査] をクリックします。



主な機能

▶ 本プログラムの活用

00010

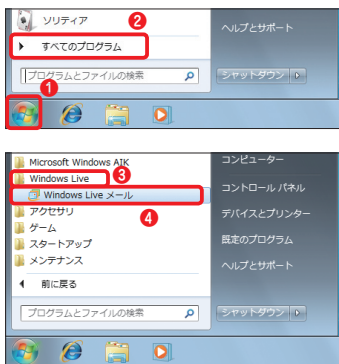
4-6

ESS

電子メールのフィルタリング操作を
知ろう [Windows Live メール編]

Windows Live メールで迷惑メールを学習させたり、迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除する方法を紹介します。また、特定のメールアドレスを、ホワイトリストに登録する方法もあわせて紹介します。

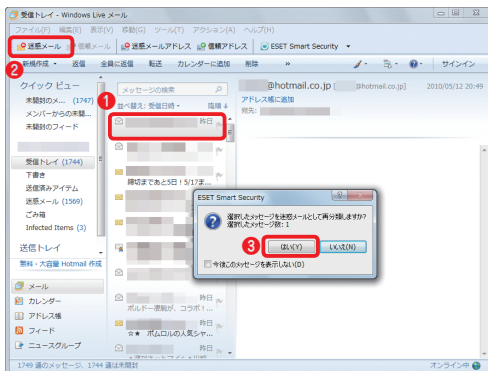
■ 迷惑メールを学習させるには



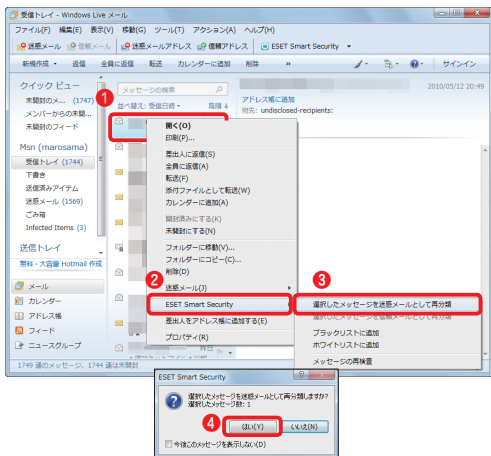
1

迷惑メールの学習手順を紹介します。① [スタート] → ② [すべてのプログラム] → ③ [Windows Live] → ④ [Windows Live メール] をクリックします。

2



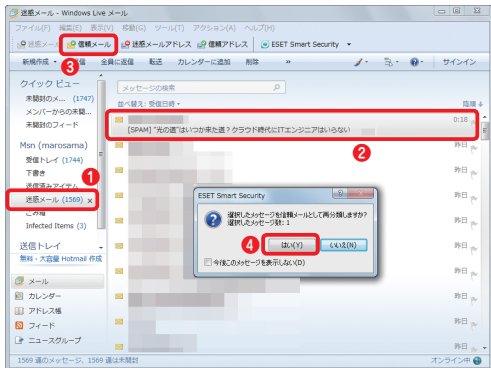
Windows Live メールが起動したら、① 迷惑メールを選択し、② [迷惑メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、③ [はい] ボタンをクリックします。



3

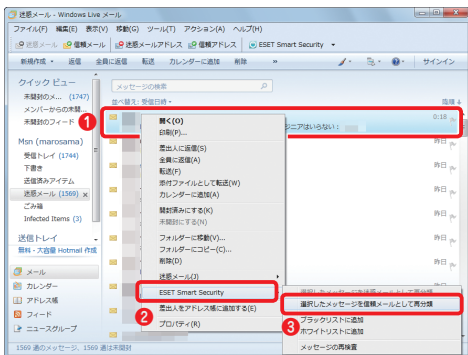
迷惑メールの指定は、次の手順でも行うことができます。①迷惑メールを右クリックし、表示されるメニューから、② [ESET Smart Security] → ③ [選択したメッセージを迷惑メールとして再分類] をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④ [はい] ボタンをクリックします。

■迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには



1

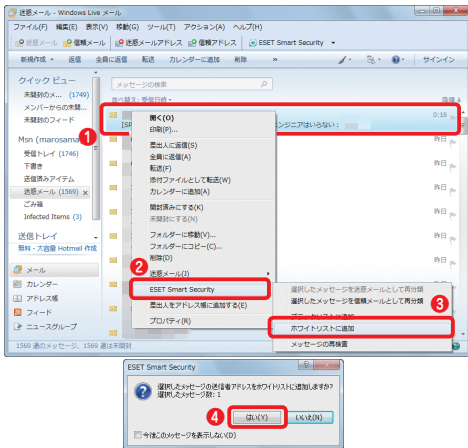
迷惑メールとして誤判定された電子メールを解除します。① [迷惑メール] をクリックしてフォルダを開き、② 解除したいメールを選択して③ [信頼メール] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④ [はい] ボタンをクリックします。



2

迷惑メールの解除は、次の手順でも行うことができます。① 解除したいメールを右クリックして、表示されるメニューから② [ESET Smart Security] →③ [選択したメッセージを信頼メールとして再分類] をクリックします。

■特定のメールアドレスをホワイトリストに登録するには



1

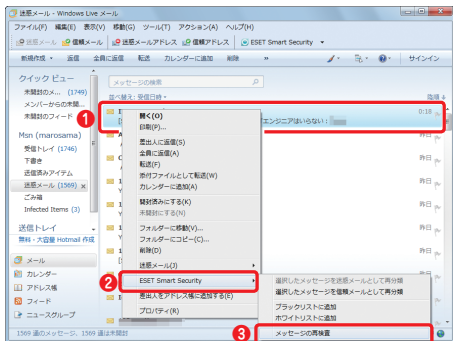
特定のメールアドレスから届いた電子メールが迷惑メールとして誤って分類される場合は、ホワイトリストに登録してください。① 該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから② [ESET Smart Security] →③ [ホワイトリストに追加] をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、④ [はい] ボタンをクリックします。

POINT

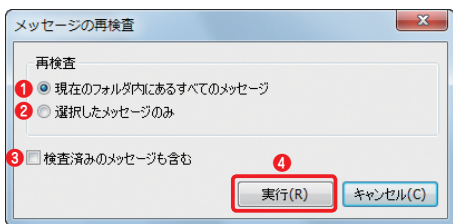
既定値では該当する電子メールを選択してから、[信頼メール] ボタン*をクリックすることでメールアドレスをホワイトリストに登録できます。

*:本ガイド 63 ページの「迷惑メールに誤判定された電子メールを解除するには」項目の手順①の③を参照してください。

■メッセージの再検査を行うには



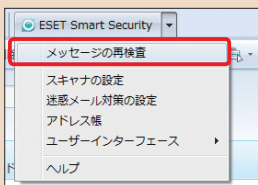
1 分類されたメッセージは、次の手順で再検査を行うことができます。1 該当する電子メールを右クリックし、表示されるメニューから2 [ESET Smart Security] → 3 [メッセージの再検査] をクリックします。



2 確認ダイアログが表示されます。フォルダ内にあるすべてのメッセージを再検査したい場合は、1 再検査欄の [現在のフォルダ内にあるすべてのメッセージ] にチェックを入れます。選択したメッセージのみを再検査したい場合は、2 [選択したメッセージのみ] にチェックを入れます。続いて検査済みのメッセージも含んで再検査を行いたい場合は、3 [検査済みのメッセージも含む] にチェックを入れ、4 [実行] ボタンをクリックします。

POINT▶

メッセージの再検査を実行するダイアログは、次の手順でも表示させることができます。該当する電子メール、あるいは該当するフォルダをクリックした後、ツールバーの [ESET Smart Security] アイコンをクリックし、表示されるメニューから [メッセージの再検査] をクリックします。



主な機能

カスタマイズ

00011

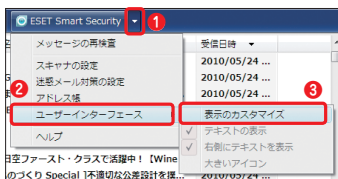
4-7

ESS

ツールバーの表示を
カスタマイズするには

Microsoft Outlook、Outlook Express、Windowsメール、Windows Live メールでは、ツールバーの表示をカスタマイズできます。

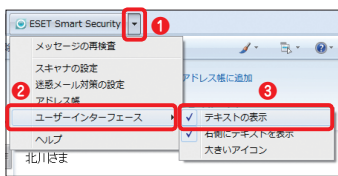
■テキスト（アイコン横の文字）を非表示にするには



▲画面は Windows メール

1

Outlook ExpressとWindowsメールを使用している場合は、①ツールバーの[ESET Smart Security]の矢印アイコンをクリックして、表示されるメニューから②[ユーザーインターフェース]→③[表示のカスタマイズ]をクリックします。OutlookとWindows Liveメールを使用している場合は手順2に進みます。



2

①ツールバーの[ESET Smart Security]の矢印アイコンをクリックして、表示されるメニューから②[ユーザーインターフェース]→③[テキストの表示]をクリックします。アイコン横のテキストが非表示となります。



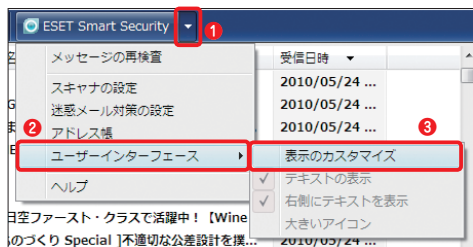
CAUTION

ご利用のメールソフトによって表示される項目は異なります。

POINT▶

元の状態に戻したい場合は、①ツールバーの[ESET Smart Security]アイコンをクリックして、表示されるメニューから②[ユーザーインターフェース]→③[テキストの表示]をクリックしてチェックを入れます。

■小さいアイコンにするには



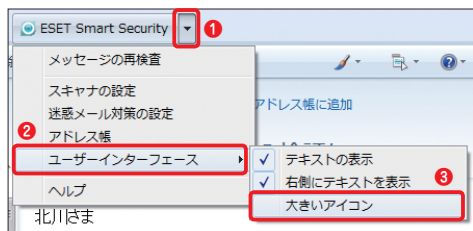
▲画面は Windows メール

1

Outlook Express と Windows メール を使用している場合は、① ツールバーの [ESET Smart Security] の矢印アイコンをクリックして、表示されるメニューから② [ユーザーインターフェース] →③ [表示のカスタマイズ] をクリックします。Windows Live メールを使用している場合は手順②に進みます。

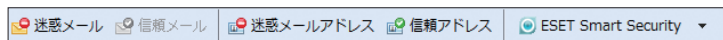
CAUTION

ご利用のメールソフトによって表示される項目は異なります。



2

① ツールバーの [ESET Smart Security] の矢印アイコンをクリックして、表示されるメニューから② [ユーザーインターフェース] →③ [大きいアイコン] をクリックしてチェックを外します。アイコンが小さくなります。



POINT

元の状態に戻したい場合は、① ツールバーの [ESET Smart Security] アイコンをクリックして、表示されるメニューから② [ユーザーインターフェース] →③ [大きいアイコン] をクリックします。なお、Outlook 2000, 2002, 2003, 2007 はアイコンの大きさを変更できません。

■ ツールバーを無効化するには



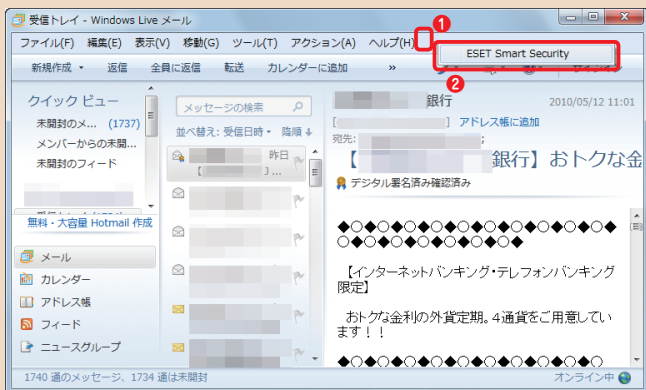
1

① ツールバーの [ESET Smart Security] アイコンを右クリックして、表示されるメニューから② [ESET Smart Security] をクリックしチェックを外します。ただし、この状態では本プログラムのアイコンが見えなくなります。ご注意ください。



POINT

元に戻したい場合は、右上の①メニューバーで右クリックし、表示されるメニューから② [ESET Smart Security] をクリックします。

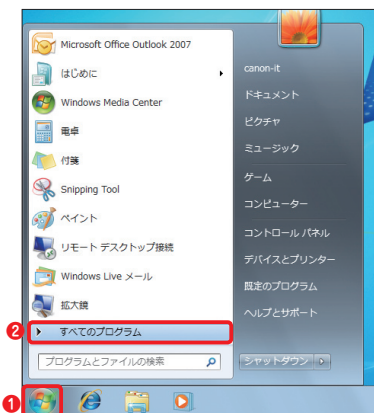


4-8

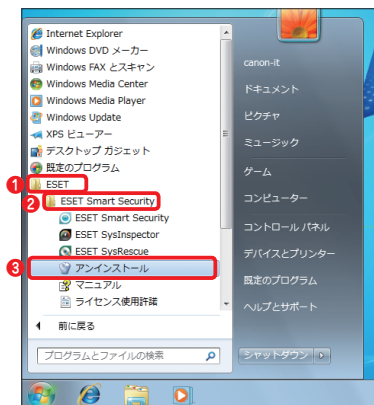
EAV ESS

本プログラムを
アンインストールするには

本プログラムをコンピューターから削除するときは、次の操作を行ってください。



- 1 [スタート] → 2 [すべてのプログラム] を選択します。

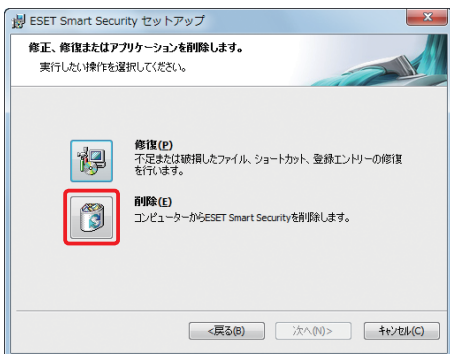


- 2 [ESET] → 2 [ESET Smart Security] → 3 [アンインストール] を選択します。



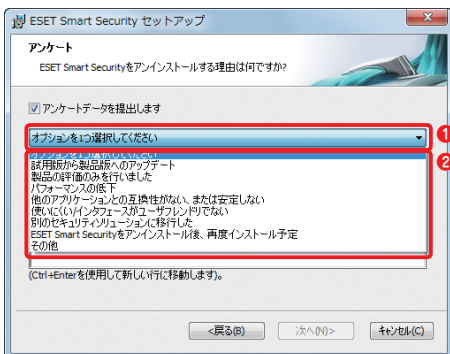
3

ESET Smart Security セットアップが起動します。[次へ]をクリックします。



4

[削除]をクリックします。



5

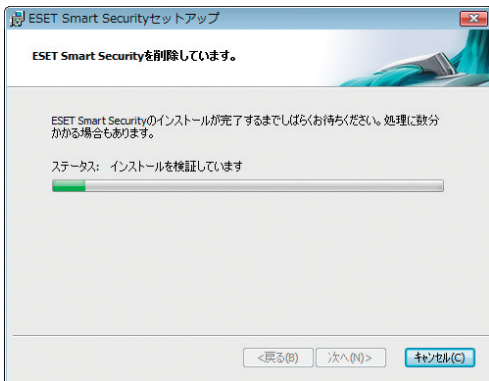
① [オプションを1つ選択してください]をクリックし、② 表示されるメニューから項目を選択します。



- 6
- ① アンインストールした理由やご意見などがありましたらご入力ください。② [次へ]をクリックします。



- 7
- [削除]をクリックします。



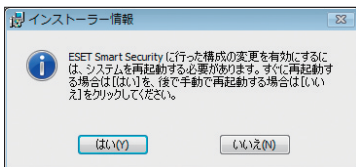
8

進捗状況が表示されます。この間、Windows 7/Windows Vistaをご利用の場合は、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。Windows 7の場合は[はい]、Windows Vistaの場合は[続行]をクリックします。



9

[完了]をクリックします。



10

すぐに再起動する場合は、[はい]をクリックします。すぐに再起動しない場合は、[いいえ]をクリックします。以上の手順で、ESET Smart Security のアンインストールが完了します。ここで[はい]ボタンをクリックした場合は、コンピューターが再起動します。[いいえ]ボタンをクリックした場合は、コンピューターを手動で再起動してください。

5-1 FAQ

同梱しておりますマニュアルとは別に、PDF形式の設定ガイドをご用意しております。PDF形式のマニュアルは、CD-ROM内もしくは以下の弊社ホームページからご入手ください。

ホームページ：<http://canon-its.jp/supp/eset/wesst1001.html>

また、本製品の最新情報やお問い合わせの多いご質問などを、以下のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

ホームページ：<http://canon-its.jp/supp/eset/>

よくあるご質問

■インストールについて

Question 1

PCの買い替え、およびPCのリカバリー後に、再度本製品をインストールし、継続利用したい

Answer

ホームページからプログラムをダウンロードの上、再度インストールを行い、お手持ちのユーザー名/パスワードを入力してください。
詳細は下記ホームページよりご確認ください。

【パソコン買い替えの際の移行ガイド】

<http://canon-its.jp/supp/eset/etpc40060.html>

Question 2

ユーザー名 / パスワードがわからない

Answer

シリアル番号とご登録されている電子メールアドレスを利用し、ユーザー名 / パスワードを照会することができます。
詳細は下記ホームページよりご確認ください。

【ユーザー名・パスワード・有効期限の照会】

<http://canon-its.jp/supp/eset/wessc2101.html>

Question 3

シリアル番号 (ライセンスキー) がわからない

Answer

ユーザー登録いただいた下記情報をご確認の上、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

郵便番号 / 住所 / 氏名 / 電話番号 / 電子メールアドレス

詳細は下記ホームページよりご確認ください。

●シリアル番号 (ライセンスキー) を紛失してしまった場合

【ESET Smart Security】

http://canon-its.jp/product/eset/regist/ess_v4.html#lost

【ESET NOD32アンチウイルス】

http://canon-its.jp/product/eset/regist/eav_v4.html#lost

■ウイルス定義データベースのアップデートについて

Question 4

本製品インストール直後など、すぐにウイルス定義データベースのアップデートを行いたい

Answer

手動でアップデートすることができます。
実施方法は、設定ガイド 4-1をご参照ください。

Question 5

ウイルス定義データベースのアップデートの際、ユーザー名 / パスワードの入力を求められる

Answer

ユーザー名 / パスワードが誤って入力されている可能性があります。再入力方法は、設定ガイド 4-2をご参照ください。

Question 6

ウイルス定義データベースの自動アップデートの設定を確認したい

Answer

本プログラムではあらかじめ自動アップデートの設定がスケジュールタスクとして登録されています。現在の設定内容を確認する場合、設定ガイド 4-4をご参照ください。

■ウイルス・スパイウェアについて**Question 7**

本製品インストール後、利用中のアプリケーションが動作しない、または、電子メール / インターネットが利用できない

Answer

ウイルス・スパイウェア対策機能が影響しているか各機能を一時的に無効にして確認を行ってください。設定方法は、設定ガイド 5-1をご参照ください。

■ パーソナルファイアウォールについて

※ ESET Smart Security のみの機能となります。
ESET NOD32 アンチウイルスでは本機能はございません。

Question 8

通信の許可をユーザーで判断したい

Answer

パーソナルファイアウォールは、既定値では自動的にフィルタリングを行います。ユーザーでフィルタリングの許可を行う場合は、手動でルールを作成できる「対話モード」で設定を行ってください。
設定方法は、設定ガイド 6-5 をご参照ください。

■ 迷惑メール対策について

※ ESET Smart Security のみの機能となります。
ESET NOD32 アンチウイルスでは本機能はございません。

Question 9

正常なメールが迷惑メールとして認識される、または迷惑メールが正常なメールとして認識される

Answer

正常なメールとして受信したい場合はホワイトリスト、迷惑メールとして受信したい場合はブラックリストにメールアドレスを登録することにより問題を解決できます。
設定方法は、本マニュアル 4-3、4、5、6 または設定ガイド 7-2 をご参照ください。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO